



(令和5年5月12日発表)

“ふるさと納税”で市民活動団体を応援！

～市内の3団体が寄附の募集を開始しました～

<p>◆ アピールポイント</p>	<p>★静岡市へのふるさと納税の使途として「市内で活動するNPO 等への寄附」を指定することができます！</p> <p>下記の3団体のプロジェクトについて、令和4年度から引き続き、活動資金調達のため寄附金の募集を開始しました！</p> <p>★この制度は令和2年度から実施しており、これまでに30件のプロジェクトに対して、1,400万円以上の寄附をいただいています。</p>																
<p>◆ 内容など</p>	<p>●寄附の対象となる団体及びプロジェクト【詳細は別紙をご覧ください】</p> <table border="1" data-bbox="470 891 1484 1120"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体名</th> <th>プロジェクト名</th> <th>目標金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般社団法人 シツクリ</td> <td>シツクリプロジェクト</td> <td>432,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>任意団体 静岡の未来を拓く会</td> <td>チャイルドサポート 相談事業</td> <td>499,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>認定特定非営利活動法人 フードバンクふじのくに</td> <td>フードドライブ強化 プロジェクト</td> <td>520,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記事業への寄附に対する返礼品はありません ※今後、随時対象事業が追加されます！</p> <p>●ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業 (静岡市役所クラウドファンディング)</p> <p>静岡市が、市内の市民活動団体の公益的な活動(プロジェクト)について、ふるさと納税の仕組みを活用して市内外から寄附を募り、集まった寄附額から経費を除いた金額を助成金として応募団体に交付する事業です。</p> <p>静岡市 HP </p> <p>《https://www.city.shizuoka.lg.jp/912_000144.html》</p>		団体名	プロジェクト名	目標金額	1	一般社団法人 シツクリ	シツクリプロジェクト	432,000円	2	任意団体 静岡の未来を拓く会	チャイルドサポート 相談事業	499,000円	3	認定特定非営利活動法人 フードバンクふじのくに	フードドライブ強化 プロジェクト	520,000円
	団体名	プロジェクト名	目標金額														
1	一般社団法人 シツクリ	シツクリプロジェクト	432,000円														
2	任意団体 静岡の未来を拓く会	チャイルドサポート 相談事業	499,000円														
3	認定特定非営利活動法人 フードバンクふじのくに	フードドライブ強化 プロジェクト	520,000円														
<p>◆ 寄附の方法</p>	<p>寄附金受入サイト(さとふるクラウドファンディング)から手続きができます。なお、現金による寄附を希望される場合は下記担当課までご連絡ください</p> <p>【令和5年5月12日(金)10時受付開始】</p> <p>さとふる HP </p> <p>《https://www.satofull.jp/projects/top.php》</p>																
<p>◆ その他</p>	<p>各団体への取材を希望される場合は下記の担当課までお問い合わせください</p>																

別紙資料 有 ・ 無

ぜひ、寄附金募集の周知や
団体への取材をお願いします。

【問合せ】市民自治推進課(静岡庁舎15階)
担当 田中、渡井
電話 054-221-1372

寄附金募集プロジェクト

一般社団法人 シヅクリ

団体HP



シヅクリプロジェクト

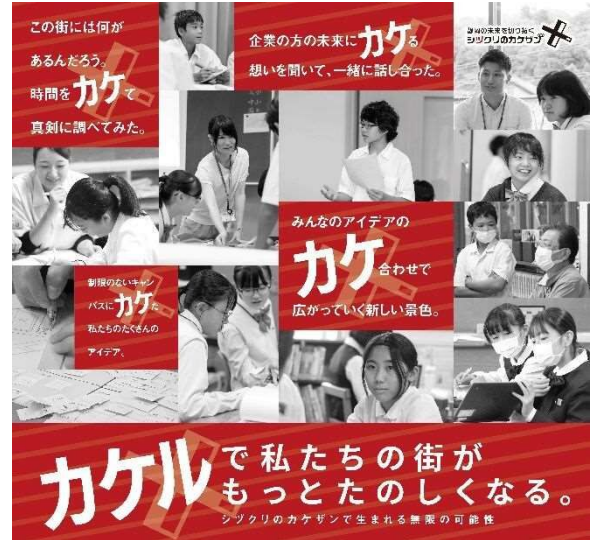
教育で、静岡の未来を切り拓く

静岡市の人口減少が進む中で、特に若者の流出が目立っています。一方で、静岡市に本社のある企業を全く知らない子どもたちも少なくありません。子どもたちは社会とのつながりを持たず、静岡市には働く場所がないと静岡市を離れてしまっているのです。

そこで、静岡の学校と社会をつなぎ、大人と子どもが直接関わり、深く対話的に学び合うことが必要と感じました。

学校の授業の中で、自分達が住むまち・地元企業の新しい可能性を発見し、地元企業の社員と先生方、中学生、高校生とともにイノベーションプランを考えていきます。

また、学びの成果を発表するための場「静岡カップ」を開催し、人財育成の道のりとともに、静岡発の地域創生モデルを広く発信していきます。



寄附の使い道

- ・静岡カップ（発表会）開催のための費用
報償費、委託料 等

任意団体 静岡の未来を拓く会

チャイルドサポート相談事業

こどもたちの未来は、しずおかの未来！

静岡の未来を拓く会は、有志校長の会を前身として発足しました。教育現場の課題解決のためには、校長という職域だけにとどまらず、多様な職種や立場の皆さんとつながる必要があると考え、教育関係者を中心に、保護者や障がい者団体関係者、医師などを迎え、新たな体制で活動しています。

悩みを抱えたこどもや保護者、教員等に寄り添った支援をしていくためには、相談する側・される側という従来型の相談の形を超え、相談者が抱える悩みや課題について共感し後押しする、新しい相談の場が必要と考えました。

そこで、このプロジェクトでは、専門家による相談対応だけでなく、多様な立場の会員からなる団体の強みを活かし、ケースに応じて相談者の課題に共感する人や情報・支援を提供できる人々を募り協働して課題解決していく、新しい相談の形をつくっていきます。



寄附の使い道

- ・相談内容の管理や共有のための ICTシステム構築費用
- ・広報費用 等

寄附金募集プロジェクト

認定NPO法人 フードバンクふじのくに

団体HP

フードドライブ強化プロジェクト



food bank FUJINOKUNI

フードバンクふじのくに

「もったいない」から「ありがとう」へ

寄附の使い道

- ・食品配布のための消耗品（ダンボール等）
- ・食品の輸送費

「もったいない」から「ありがとう」へ

日本ではまだ食べられるのに捨てられてしま
う、いわゆる「食品ロス」があります。

その一方で生活に困窮し、明日の食事にも事
欠く人も増加しています。

その2つの矛盾した社会問題を結びつけ解決
するための事業がフードバンクです。

フードバンク事業の中でも、個人のみなさま
からの食品寄贈を特に強化する取組が「フード
ドライブ」です。お中元やお歳暮のある夏季、
冬季に公共施設等に食品回収ボックスを設置し、
一般家庭で余っている食品の回収を強化します。

フードバンク事業を「地域の仕組み」として
定着させ、「もったいない」食品を必要な方の
「ありがとう」という言葉に変えることが当
り前な社会づくりを目指します。